

令和6年度施政方針

令和6年 第1回定例会

令和6年3月4日

小海町長 黒澤 弘

施政方針

本日ここに、令和6年第1回小海町議会定例会を招集申し上げましたところ、議員の皆様には大変ご多忙の中、全員のご参会をいただき定刻に開会できますことを、心から厚く御礼申し上げます。

早いもので令和6年も3月となりました。2月とは思えない暖かい日と、この時期らしい日、三寒四温といわれますが極端な気温差の2月でありましたが、日増しに温かさが増し季節は春へと進み安定した気候の年度となるよう期待しているところでございます。

1月30日の臨時議会の折にも申し上げましたが、誰もが心新たに希望に満ち新しい年を迎えた1月1日の午後4時10分頃、想像を絶する大地震「能登半島地震」が発生し、多くの犠牲者と甚大な被害をもたらしてしまいました。発生から2ヶ月ほどが経過した今もなお、多くの皆様が避難生活を強いられております。犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げる次第でございます。1日、一刻も早い復旧、復興を願い、微力ではございますがご支援をして参りたいと考えてございます。町では、県と調整した中で避難所支援として、昨日から7日までの予定で3名の職員を輪島市へ派遣したところでございます。

また、私事で大変恐縮ですが、今年には町長として二期目の折返しであり、2年前新たな情熱で町民の皆様と共に更なる町の発展を目指して一生懸命邁進することをお誓いすると申し上げた次第ではありますが、公約である元気な町づくりのため、公平・公正・適正を基本とし力強く精力的に行政を進めてまいり所存でございますので、議員の皆様におかれましては、ご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、約三年にわたったコロナ禍は、まさに生きる全ての面においての戦いでありました。しかし、5月8日感染症の位置づけが、2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類に移行し徐々にコロナ前の活動が再開し、活気を取り戻したように思います。経験したことのないウイルスの恐怖、今後においてもまた起きる時の教訓とする事が大切だと考えます。そして物価の高騰、町では物価高騰対策としまして、町民の皆様へは町内で使用できる商品券の配布などのほか、各事業者の皆様へ物価高騰対応支援制度をもうけ、支援を行っております。

昨年、10月30日には長年の願いでありました、中部横断自動車道、山梨県境から八千穂高原インターチェンジ間の都市計画原案の説明会が総合センターで開催されました。ルートは、国道141号線にほぼ並走する形であり、トンネルと橋梁が多く、八那池地区の松原湖入口交差点付近にインターチェンジが設けられる計画原案でございます。この地域に希望をもたらす大きな前進であるとともに、諸先輩方の活動・ご尽力に感謝し、新たな町づくりを行う責任を痛感したところでございます。

令和6年度の町政を執行するにあたり所信の一端を申し上げます。

近年の異常気象、地球温暖化を超え地球沸騰という言葉が出てくるほどの猛暑を超えた酷暑とも言える非常に暑かった上、降雨が少ない令和5年でありました。令和2年から取り組んでおりますワイン用ブドウの栽培は、定植から収穫の目安である4年目を迎え、わずかではありますが収穫し、新年祝賀式で初の小海産ブドウでのワインの試飲をしていただいたところでございます。令和6年度は、興味や関心をお持ちの町民の皆様にブドウの苗を配布し、ワイン用ブドウ事業の拡大を図ってまいりたいと考えております。

小海駅前再整備につきましては、小海駅舎を町が取得し運営をしてまいりました。エキウエは、中高生を対象とした自習室として活用しておりますが、日中の空き時間の有効活用を模索しているところでございます。またアルルにつきましては、コミュニティエリアの一部をキッズスペースとして活用し、「誰でもが憩い、集うことができる拠点づくり」を目指し、トイレ等の整備を検討しているところでございます。改築や大規模修繕に対し、駅とアルル一体の建築物としてみなされることから、デジタル田園都市国家構想交付金、いわゆるデジ田事業により全体の図面作成を行い、具体的協議を進めてまいりたいと考えております。

福祉施策につきましては、前年度から開始しました保健と介護予防の一体的事業により健康寿命を延ばし生涯健康で安心して暮らせる町づくりを目指すともに、障害者の皆さんの将来不安、心配、そして生活実態を適切に把握した中でグループホームなどの整備をはじめ、低所得者の住宅整備などの検討を行ってまいるところでございます。また、難聴児を含めた難聴者への補聴器購入の補助制度や帯状疱疹予防接種に対する助成、がん患者への助成、がん検診への補助、児童福祉施設への入所支援など福祉サービスのより一層の充実を図ってまいるところでございます。児童館の増築につきましては、用地の取得や賃貸借契約など基盤整理を行い実施する考えでございます。町営路線バスに代わる新交通体系として、昨年11月から試験的に親沢線で実施しております。タクシーでの代替輸送につきましては、今後さらに拡充を図り親沢線以外の路線においても導入を目指し、移動困難者の移動手段の確保、充実に努めてまいるところでございます。

商工観光関係では、町民のほか観光客も取込むことを目的にした公園整備を松原湖高原の八峰の湯の隣接地、現在のパターゴルフ場の場所に行う計画でありまして順次業務を進めてまいります。またプレミアム商品券発行に関しましては、令和5年度20%のプレミアムがついた商品券1億円を発行したところ、1億6千万円ほどの申込があり4割ほどの割落ととなり町民の皆様の期待に十分応えることができなかつたことを考慮し対応してまいる考えでございます。

教育関係では、小学校においてウォーキングを特殊な計測器を使って行い、体の基本となる体幹を計測し、子供たちへの正しい歩行や改善指導を通じた健康づくりに取り組んでまいるところでございます。

その他、地域の活性化活動を継続的に実施されている団体等への支援や、自転車用ヘルメット購入補助、野良猫への去勢対応、あつてはならないことではありますが犯罪の被害者となった場合の支援などの施策を展開してまいるところでございます。

努力と英知により小海を築いてこられた先人の方々に感謝し、高齢者の皆様を敬い、ここで生活をしている町民の皆様お一人お一人が夢を持ち健康で明るく楽しく暮らせる温かい町、子育てしやすい町を目指し「挑戦」「新鮮」「実行」を礎に元気な町づくりを進めてまいります。

こうした中、編成した令和6年度の予算規模は

一般会計	4,425,000	千円
国民健康保険事業特別会計	517,000	千円
介護保険事業特別会計	716,591	千円
後期高齢者医療特別会計	90,309	千円
簡易水道事業会計（収益的収入合計）	96,260	千円

総額5,845,160千円、前年比275,868千円、5.1%の増額となりました。

次に会計ごとに概要を申し上げます。

○一般会計

・歳入につきましては、町税は前年の実績を考慮し、前年比13,151千円減の559,969千円を計上しました。

地方譲与税は前年比5,000千円増の80,000千円、地方消費税交付金は前年比5,000千円増の100,000千円、地方交付税につきましても、前年比37,600千円増の1,923,100千円を計上しました。これらは前年度実績等をもとに計上したものでございます。

国庫支出金は、総務費補助金の戸籍システムの標準化、戸籍等のコンビニ交付導入などの補助金の増額と土木費補助金の社会資本整備交付金などの減額により、前年度比34,822千円増の256,331千円を見込みました。

県支出金は、民生費負担金の障害者の介護給付などの増のほか、農林水産費関係で林道八ヶ岳線改良工事費の増などにより前年比17,508千円増の158,543千円を見込んでおります。

財産収入は、前年比55,461千円減の65,219千円を計上しました。村上団地の分譲をR5年度の実績を考慮し63,000千円減額したことが主な要因であります。

繰入金は、基金繰入金を前年比53,309千円増の331,338千円を計上しました。減債基金、森林環境譲与税基金のほか、施設の修繕事業のほか町民の皆様の支援等に充てるため財政調整基金から156,000千円の繰入金を計上しました。

町債は、過疎対策事業債において、ハード分で203,000千円、ソフト分で41,000千円、合計244,000千円、地方交付税を補填するための臨時財政対策債を10,000千

円、緊急防災減災事業債を 210,000 千円、緊急自然災害防止対策事業債を 31,000 千円で合計額は前年比 205,800 千円増の 495,000 千円を計上しました。防災行政無線の更新に伴うものが緊急防災減災事業債 210,000 千円のうち 198,000 千円であり、この部分が増額の主なものでございます。

・歳出につきましては

1 款 議会費の総額は 66,183 千円を計上し、前年比 1.8%の減となりました。議員の皆様の報酬、事務局人件費、議会だよりなど議会活動に要する経費を計上してございます。尚、議場の音声、映像配信設備の整備につきましては、庁舎の修繕と位置づけ総務費に計上しております。

2 款 総務費の総額は 923,247 千円を計上し、前年比 34.7%の増となりました。一般管理費では、先ほど申し上げました議場の音声、映像配信設備を 5 年間のリースとして使用料を 3,517 千円計上し、広報費では防災行政無線の更新、整備費用 198,000 千円を計上しました。平成 24 年に使用開始し、既に保守期間の 10 年が経過し更新の時期を迎え、2 年計画の 1 年目分を行うものでございます。企画費では 2 年間活動いただきました地域プロジェクトマネージャーが退職されるに伴い、地域おこし協力隊として募集し憩うまち事業を進める計画でございます。また積立金は前年比 59,007 千円の減であります。村上団地分譲に伴う財産売払収入を減額したことが主な要因でございます。駅周辺運営費については、前年は補正予算により計上したため本予算では皆増となっております。戸籍住民登録費においては、戸籍謄本や印鑑証明書などがコンビニで交付が可能となるシステム構築などにより 60,314 千円の増となっております。

3 款 民生費の総額は、938,919 千円を計上し、前年比 4.3%の増となりました。

介護保険の事業計画を見直したことから、その計画に沿い介護保険事業特別会計への繰出金が減となったほか、後期高齢者医療特別会計への繰出金につきましては医療費の増加等により前年に対し増となっております。心身障害者福祉費においては、重度障害者への支援に伴う給付費等の増額により前年比 36,629 千円増となっております。また、児童福祉費では前年に続き保育所の屋根改修工事を行い施設の長寿命化を進めてまいります。

4 款 衛生費の総額は、379,480 千円を計上し、前年比 0.7%減で前年並みとなりました。

保健衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種関係費用を皆減しておりますが、国による接種費用の決定など今後の動向により、補正予算で対応をしております。生活環境衛生費では、老朽化に伴い小型の路線バス更新費用を計上しました。

5 款 農林水産費の総額は、219,834 千円を計上し、前年に比べ 4.6%の増となりました。

農業振興費では、遊休農地対策事業としてワイン用ブドウ栽培の拡大を目指し苗の配布など行う考えでございます。また県営事業で行っております小海原の畑灌整備事業への負担金を計上しております。林道費は、前年比 20,014 千円増であります。林道八ヶ岳線の改良工事費が増となったものであります。

6 款 商工費の総額は、404,733 千円を計上し、前年比 3.2%の増となりました。

松原湖観光公園整備設計料を計上し、公園整備に向け着手してまいります。またプレミアム付商品券の発行を前年に続き実施してまいります。前年度の動向を踏まえ 150,000 千円分の Pねっと商品券の販売に対する補助金を、事務費を合わせ 31,800 千円計上しました。松原湖観光交流センター運営費の八峰の湯であります。物価高騰などにより全体で前年比 13,192 千円増の 224,783 千円を計上しました。町民の皆様の健康増進施設、地域振興、松原湖高原の観光拠点施設として、多くの皆様に利用され、そして愛される施設づくりを目指してまいります。

7 款 土木費の総額は、335,656 千円を計上し、前年比 3.5%の増となりました。

前年に続き小海大橋の橋梁下部の修繕工事を実施するとともに、道路改良工事、町道維持補修事業など進めてまいります。

8 款 消防費の総額は、188,148 千円を計上し、前年比 7.2%の増となりました。

防火水槽修繕工事、小型ポンプ付き積載車更新など防火対策を進めてまいるところでございますが、自然災害等に対する災害時備蓄品については計画的に整備し予期せぬ災害に備えてまいるところでございます。

9 款 教育費の総額は、489,496 千円を計上し、前年比 5.7%の増となりました。

小学校関係では、ランチルームの照明、床の修繕、給食牛乳保管庫の更新など計上し、社会教育費において、音楽堂の外壁の修繕費、町の文化財修繕補助金として松原諏方神社上社屋根修繕事業への補助金を計上しました。また公民館費においては八那池公民館改修事業への補助金を計上してございます。その他美術館の浄化槽の改修工事、スケートセンターのテントハウスシート張替え工事費などを計上したところでございます。

10 款 災害復旧費の総額は、前年度と同額の 9,000 千円を計上しました。台風や豪雨災害による土砂の片づけなど応急工事に対応してまいります。

11 款 公債費の総額は 465,304 千円を計上し、前年比 7.1%の減となりました。

○国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計予算の総額は 517,000 千円を計上し、前年に比べ 1.7% の減で、ほぼ前年度並みとなりました。国民健康保険事業の運営につきましては、より一層の財政の健全化を図りながら、制度の安定的、持続的な運営と被保険者の負担の公平性確保に努めてまいります。また保険料につきましては、令和 9 年度までに資産割を廃止することとなるため、令和 6 年度におきましても保険料の見直しを行ってまいります。

○介護保険事業特別会計

介護保険事業特別会計予算の総額は、716,591 千円を計上し、前年に比べ 2.8% の減となりました。本年度より、第 9 期の介護保険事業計画がスタートし、この計画に沿って保険運営を今後 3 年間行ってまいります。また、引き続き介護予防の強化を推進するため、予防教室など、地域支援事業にも力を入れ、利用者本位の運営に努めてまいります。

○後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計予算の総額は、90,309 千円を計上し、前年度に比べ 8.0% の増となりました。主たる要因は、広域連合への保険料納付金の増額によるものです。広域連合との連携を図り、安定した制度運営に努めてまいります。

○簡易水道事業会計

簡易水道事業会計予算の収益的収入総額は、96,260 千円を計上し、前年に比べ 0.9% の減でほぼ前年度並みとなりました。令和 5 年度から簡易水道としての運営が始まり、補助金、企業債の借入れなど財源を確保しながら、資本的収入及び支出の建設改良費において、配水管布設替え工事を 50,000 千円規模で計上し、長期計画に沿った整備を進めてまいります。

以上、私の所信の一端と各会計の予算について概要を申し上げます。町民の皆様が何を求めておられるのかを的確に判断し、スピード感をもって様々な施策を講じてまいりたいと考えております。「元気な小海町」をつくるため、引き続き積極的に行行政を推進してまいります所存でございます。議員の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます、施政方針といたします。

○提出議案の説明

それでは続きまして、当初予算以外の議案につきまして、議事日程順に総括的なご説明を申し上げます。

- ・同意第1号 小海町教育委員会委員の任命同意につきましては、令和6年3月7日で任期満了となります教育委員1名について、篠原秀郷氏を継続して任命することについて同意をお願いするものでございます。
- ・議案第2号 財産の取得に関する変更については、6月定例会において契約議決を頂いております消防小型動力ポンプ付積載車購入について、納期を約3か月延長する変更に対し議会の議決をお願いするものでございます。
以上2件につきましては、本日審議の上、ご決定いただきますようよろしくお願い申し上げます。
- ・議案第3号 小海町犯罪被害者等支援条例の制定につきましては、犯罪被害者の支援を総合的に推進することを確立するものでございます。
- ・議案第4号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例及び、議案第5号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例につきましては、会計年度任用職員に対し勤勉手当を支給することを定める、関係条例を整備するものでございます。
- ・議案第6号 小海町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例につきましては、子供子育て支援法に付随する法令の改正に伴う改正であります。
- ・議案第7号 小海町介護保険条例の一部を改正する条例につきましては、介護保険法の改正に伴い保険料段階を9段階から13段階に改正するものでございます。
- ・議案第13号 令和5年度小海町一般会計補正予算（第8号）につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,217千円を追加し、総額を4,640,750千円とするものです。主な補正内容は精算に伴うものであります。
- ・議案第14号 令和5年度小海町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ828千円を追加し、総額を527,203千円とするものです。主な補正内容は精算に伴うものであります。
- ・議案第15号 令和5年度小海町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ41,610千円を減額し、総額を711,326千円とするものです。主な補正内容は介護サービス費の精算見込に伴

うものであります。

- ・議案第 16 号 令和 5 年度小海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）につきましては、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 3,381 千円を減額し、総額を 80,202 千円とするものです。主な補正内容は後期高齢者医療広域連合への納付金の精算に伴うものであります。

以上、本定例会に提案いたしました議案につきまして、その概要を申し上げます。詳細につきましては、副町長、担当課長等からご説明いたします。よろしくご審議のうえ、すべての議案につきまして、可決決定を賜りますようお願い申し上げます、議案の総括説明とさせていただきます。

なお、令和 5 年度予算につきましては、最終的な調整が必要となるため、補正予算として専決処分し、6 月の第 2 回定例会において報告させていただき、ご承認を賜りたいと存じますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。